

つなみまち

2022年4月20日発行

No.223

3月定例会 3/3~3/18

町長施政方針	02~03
令和4年度予算	03~04
一般会計・特別会計 討論	05~06
総括質疑	06~07
議案採決結果	08
発議	08
一般質問 町政を問う	09~14
委員会レポート	15
町民登場	16

深い雪の中にも 春がきた

GI認証の雪下ニンジンを全国へ



津南町議会

検索

新型コロナウイルス感染が拡大してから既に3年目となりました。その間オリンピックの延期や多くの産業に影響があり、世界がどうなってしまうのだろうと不安になりました。国も町もワクチン接種や治療薬の開発に必死で取り組んでいます。感染拡大は子どもにも広がり、なかなか終息せず、心配しているところです。また今年の冬は16年ぶりの大雪で瞬間的に4メートルを超え、豪雪対策本部も町に設置されました。更に灯油やガソリンの値上げが追い打ちをかけ私達庶民は厳しい生活をおくっています。またロシアによるウクライナ侵攻が戦争となり世界情勢も増々不安定となっています。そんななか、町が少しでも明るくなるように津南町議会も一丸となって頑張っています。令和4年度予算も無事可決し新しい年度を迎えます。

令和4年度 町長施政方針

私は町長に就任以来、子ども達が大人になっても持続可能で胸を張れる町になることを使命に各施策を前に進めてまいりました。特に新型コロナウイルス対策に総額20億9千万円の予算措置を行い、医療体制の強化と経済対策に取り組んできました。津南町が誕生して以来、先人の方が築かれてきたこの歴史を受け継ぎ、持続発展する津南町であり続けるよう挑戦してまいります。

予算総計

当町の一般会計総額は前年度比1.2%減の70億円、特別会計の総額は前年度比0.7%減の52億3,740万円、合計は前年度比1.0%減の122億3,740万円となりました。

主な歳入状況

町民税では新型コロナウイルスの影響で各業種とも売上げの落ち込みを想定いたしました。各種施策の効果もあり予想した減収が見られず2.3%の増、固定資産税は感染症の減免制度が終わる等のた

め前年比3%増としました。国庫支出金は旧中津小の整備事業補助金の減等により5.1%減、地方交付税は前年比5.5%増の32億4千万円となっています。

主な歳出（施策）

総務関係

① 脱炭素社会の実現のため、再生エネルギー設備導入に向けた調査、戦略策定を行う。
② 地域おこし協力隊は更に隊員を募集し地域づくりを支援する。

③ ニュー・グリーンピア津南は更なる支援策を行う。

福祉保健関係

① 社会福祉では地域包括支援センター内に「成年後見センター」を設置する。
② 障がい者福祉では18歳以上に補聴器補助を拡大する。

③ 高齢者福祉として保健事業と介護予防を一体的に実施し歯科検診を開始する。

④ 保健事業はコロナワクチン接種を迅速に進め各種検診の受診率向上を図る。

農政関係

① スマート農業に対しては機械導入を支援するとともに自動給水栓の試験導入を行う。



ドローンを使ったスマート農業を導入し生産性UPを

② 地域農業の担い手育成に向け新規参入者を確保、新規法人の補助事業による機械設備の導入に町から10%上乘せ補助する。

③ 国内最大級の米の品評会「米・食味分析鑑定コンクール」令和5年度の国際大会に向け準備する。

④ 畑作では「新潟県園芸振興基本戦略」に基づき付加価値の高い園芸の産地化を目指す。

観光地域づくり関係

① 「まちなかオープンスペース」を整備し住民同士や来町者の交流拠点、テレワークの拠点とする。

② 移住コワーディネーターを設置し移住者の相談業務の充実



雪下ろしの安全対策で命綱の固定金具を

を図る。
③ 「大地の芸術祭」を通して交流人口の増加と町内経済波及効果の向上を図る。

建設関係

① 河川関係では「信濃川上流圏域河川整備計画」に基づき沿線の工事と用地確保を進める。

② 除雪関係では「除雪ドーザ」の更新により冬季道路の安全を図る。

③ 住宅関連では住宅の克雪化のため「雪下ろし安全対策支援事業」を進める。

教育委員会関係

- ① GIGAスクール構想に基づき1人1端末の活用による学習を向上させる。
- ② 生涯学習ではマウンテンパークのリフト改修によるスキー環境の整備を行う。
- ③ 継続事業である「津南町埋蔵文化財センター」の旧中津小体育館の改修工事に取り組み。



埋蔵文化財センターで説明を受ける議員団
国宝級の文化財を保管する部屋

病院事業

- ① 診療体制は新たに「循環器内科」医師を招聘し、「訪問診療では出向く医療の体制の構築を行う。
- ② 入院では「地域包括ケア病床」において自宅や施設で生活できるように退院、在宅支援を行う。
- ③ 医師、看護師確保対策は大学病院と連携を強化、「民間人材バンク」も活用しスタッフを確保する。

令和4年度予算

一般会計

69億9,500万円

歳出 重点施策の主な項目

総務費

防災行政無線改修 4,950万円
積立金（ふるさと納税他） 6,244万円

定期バス運行補助・地域公共交通運行委託・地域交通協議会補助 8,031万円
地域おこし協力隊・集落支援員設置事業、起業支援 2,373万円
施設維持管理、ふるさと納税事務・ゼロカーボン戦略策定委託料 3,990万円

民生費

社会福祉費（要援護世帯除雪・社会福祉協議会・民生児童協議会等） 3,427万円
各種障害者介護・援護給付費 2億5,388万円
後期高齢者医療費給付費負担金

衛生費

子ども・妊産婦等医療費助成 1,978万円
健康増進関連委託料（各種検診・健康診査等） 6,868万円
予防費（ワクチン接種等） 5,864万円

農林水産業費

津南地域衛生施設組合負担金 1億4,572万円
町立津南病院会計補助金・出資金 3億6,293万円
認証米・土づくり・環境資材補助 1,062万円
農業振興補助金（集積、鳥獣、経営安定・販売促進・食味向上等） 1,483万円
農林県単・スマート農業等機械導入補助金 8,475万円
中山間地域等直接支払交付金 1億1,908万円

多面的機能支払交付金

1億3,858万円
農業基盤整備調査・情報通信環境整備 4,400万円
国営開発事業償還負担金 7,869万円
広域家畜診療・伝染病対策・牧場関連費 2,787万円
農業集落排水事業特別会計繰出金 2億5,206万円
森林環境・森林整備補助金 1,320万円
林道整備関連費 3,102万円



ロボットトラクター

町長施政方針、令和4年度予算

一般・特別会計討論

総括質疑

予算採決結果、議案採決結果、発議一般質問

委員会レポート



まちなかオープンスペース（パース）

商工費

まちなかオープンスペース整備費 4,905万円
 移住定住促進事業 1,222万円
 観光施設管理委託（萌木の里他） 1,329万円
 大地の芸術祭事業 2,017万円

土木費

道路維持修繕・改良舗装事業 1億8,594万円
 除雪対策費 2億1,599万円
 住宅改修・克雪すまいづくり事業補助金 1,039万円
 下水道事業特別会計繰出金 2億6,280万円

消防費

十日町広域事務組合消防費負担金 3億2,283万円

教育費

特別支援員、複式臨時講師設置費 3,826万円
 埋蔵文化財センター整備（旧中津小学校改修） 8,160万円
 ジオパーク推進事業 2,114万円



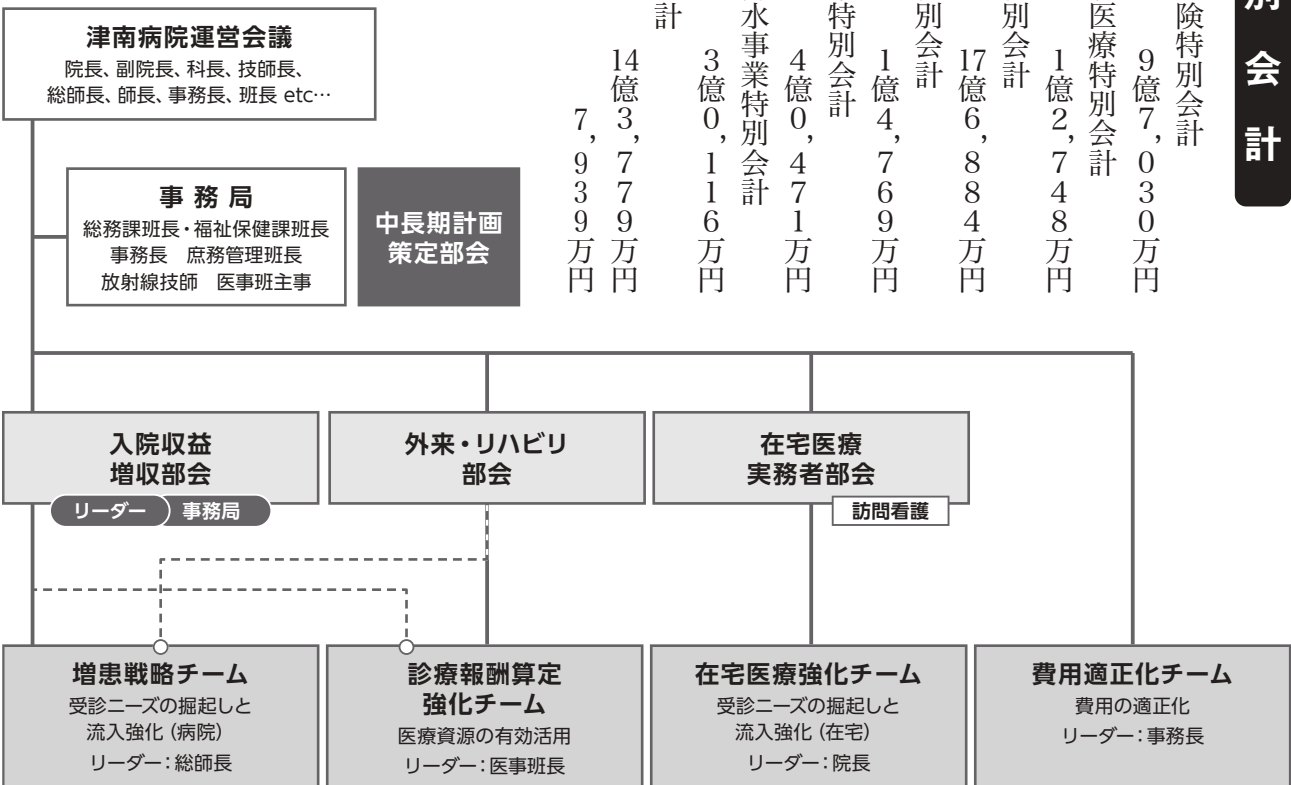
埋蔵文化財センター内部

特別会計

国民健康保険特別会計 9億7,030万円
 後期高齢者医療特別会計 1億2,748万円
 介護保険特別会計 17億6,884万円
 簡易水道特別会計 1億4,769万円
 下水道事業特別会計 4億0,471万円
 農業集落排水事業特別会計 3億0,116万円
 病院事業会計 14億3,779万円
 収益的収支 7,939万円
 資本的収支

[R3の推進体制、R4は新体制で取り組む予定]

中長期計画策定の体制と部会・チームの役割



一般・特別会計 討論

一般会計

修正案提案理由

石田タマエ

令和4年度津南町一般会計予算で、DMO（観光地域づくり法人）設立に関わる歳入歳出予算を次の理由により減額する修正動議を提出する。

DMOの目的は否定するものではないが、本予算ではその目的達成のための具体的な道筋が不明瞭であり、「進めながら考える」といった不確かな計画である。行政としては、様々なリスクが懸念されるこのような事業への予算執行は慎重に進めるべきと考える。

よって、本予算から以下の予算を減額する。

歳入 繰越金 500万円
歳出 観光費のうち DMO登記手数料 20万円
と観光地域づくり事業交付金 480万円を減額する。

修正案賛成討論

津端 眞一

私の議会人生の中で、一般会計予算に初めて反対する。

ニュー・グリーンピア津南の経営危機問題、プラスチックごみの処理問題は喫緊の課題だ。

しかしながら町長は、30年50年100年先を見て、DMO事業を早急に立ち上げる意向だ。

私はこの事業の内容と進め方に理解ができない。よってこの修正案に賛成する。

滝沢 元一郎

観光地域づくり法人の理事会の構成は町が開催した検討委員会の団体、事務局は役員職員と何ヶ月たっても応募のない協力隊員、実行部隊となるであろう社員としての企業、個人の位置づけや出資に関することが不明確なままである。法人は一般社団法人で独立した民間団体ではないのか。本来理事会は法人の重要な意思決定機関であり、実行する事業を決めて、そのプロセスを示し、予算付けを行い、結果に責任を持つ。事務局は理事会の命を受け、事務や現場を受け持つということだと思う。

法人の設立は行政指導による観光施策では単年度成果主義のため、長期的にとらえた投資や分析がなされず成果があらぬという反省の上に立ったものである。

その態様と進め方は説明の中でも理解できなかったので、修正案に賛成する。

桑原 洋子

桑原町政一期目の目玉事業、ひまわり保育園増築工事は2度の入札不発となった。建設反対の署名も無視し民主主義も住民自治もない強硬な進め方をしてきた。更に今後も3園の方向で進めるとの、建設ありきの姿勢は、更に不信感と疑惑を持つ。今後、業者、前教育長へも調査、検証が必要だ。

「議員の請負禁止に関わる地方自治法」に違反している事実も明らかになった。町長就任以来3年半以上にわたり、自治法違反を認識しながら取引を続けてきた。金額にして約1,180万円。町長の責任はもちろん、庁舎内のモラルの欠如、法違反の責任は謝罪だけでは済まされない。今後第三者委員会、議会の特別調査委員会設置が急務である。

豪雪対策も消極的だ。この冬積雪量419cmになっても災害救助法適用で県に対し弱腰の姿勢だ。町長は豪雪の風評被害をいうが「豪雪それ自体が災害」という認識があるのか。

国の方針、メニューに対応するだけでなく、わずかな年金で暮らす高齢者、コロナ禍で疲弊する町民により添い、町民の願いをよく聞く、この地にしっかりと足をつけ、町政史上に汚点を残すことは今後やめて下さい。国の悪政からの防波堤になって下さい。

村山 道明

DMOの主旨、目的等については一応理解する。しかしながら足腰の強さや職員体制などあまりにも脆弱である。

収入源や支出など勘案すると法人設立に異議を感じる。

ふるさと納税に関しては、JAや各企業との連携が必要で、素人集団が取り扱うのは心配であり、しっかりとした足腰を作ったうえで設立すべきだ。「まちなかオーブンスペース」は、テレワーク企業社員が利用するとしてそれだけのスペースがあるのか。利用者から良好なスペースを確保すべきで、今後も慎重審議すべき事項だ。このことを含めて本修正案に賛同する。

原案賛成討論

久保田 等

今年も引き続き新型コロナウイルス感染症で町税等に影響が見込まれる中、令和4年度一般会計は70億円と高い水準となった。予算編成を見ると公共施設の老朽化に伴う修繕費と扶助費の増が見込まれ、例年にならない厳しい予算編成になったと思われる。そんな中、基幹産業である農業分野で前年度比15%増の予算を見ても、今年度も「農業立町」を強く打ち出した予算である。

さらに今年が目玉の1点目はオンラインに立つことができる。テレワークができる環境を整備するという事で、サテライトオフィスの誘致に向けたスタートラインに立つことができる。

2点目は移住定住促進事業によりやく本腰を入れ、1,200万円となっている。

3点目は観光地域づくりDMOの設立。将来に向けた持続可能な町づくりには必要不可欠。アフターコロナを見据えた攻めの姿勢が反映された予算に賛成する。

特別会計

◆ 介護保険

反対討論

桑原 義信

私達の足元では、灯油・ガソリン・食料品など物価が軒並み上がっている中、年金は4月から0.4%減額になる。「年金は減るのに介護保険料はいや応なしに引かれる」と町民の声が寄せられている。昨年8月、施設等に入所する低所得者の食費、居住費を補助する補足給付が改悪され、サービス利用料の負担が増して施設利用をやめざるを得ない高齢者も出てきている。

介護保険は「高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み」として導入されたが、もはや社会保障とは呼べないものになっている。政府は介護職員の賃金引上げとして、今年2月から9月まで交付金で実施し、10月以降は介護報酬上での対応に切り替え、国の負担は大幅に減るが、自治体やサービス利用者などに新たな負担が増える。これは応益負担で国の責任を投げ捨てるものだ。町は現場の声を聞き、住民の更なる負担にならぬよう国に強く訴え、町独自の策も求めて反対討論とする。

総括質疑

町長の権限と責任について

津 端 眞 一

問 ニュー・グリーンピア津南の支援策と今後の業務状況は。

町長 7年間の経営改善計画があり、ソフト面の支援など、最大限の協力と可能な範囲で支援を行う。

問 保育園整備の2回の不落と事前着工支払済みの責任は。

町長 私の不徳の致すところ。今後も議員と協議させていただき、保育園整備を進めたい。
①今後、国の眼も入り責任をはたす。
②金銭的な面の責任を考える。
③二度とこのような事がないようにする。

介護・福祉現場の窮状の声を聞いているか

桑 原 義 信

問 町長は施政方針で「医療介護の関係者に距離を近くして進めてきた」というが、施設での「コ口

ナ感染で5週間休業したが、減収補てんは何もない」「コロナ対応の経費が掛かっている」など、現場の窮状の声を聞いているのか。

町長 新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会や医療介護連携会議等で議論を深めている。

福祉保健課長 施設とオンラインで対話している。課題に町で対応できるか検討する。

「住み続けられる町」令和4年は何をやる

石 田 タマエ

問 令和4年度「町長施政方針」には、住みやすさについて全く示されていない。具体的には、地域公共交通がここ数年改善が見られない。ごみ処理施設は進展がない。保育園増築計画は、令和4年度に何も示されていない。

町長 公共交通は地域代表(7名)の意見を聞く場を設ける。ごみ処理は引き続き検討していく。保育園は3園を統合(ひまわり・こばと・北部)し、全町での3園体制(ひまわり・わかば・上郷)には変わりはない。

町の活性化策は

滝 沢 元 一 郎

問 まちなかオープンスペースのコストと運営、DMOの事業は。

町長 約260万円で運営を検討中。ふるさと納税事務や公共施設の管理、ジオパークやラフティンクなど津南らしい商品開発を行う。

問 ゼロカーボン戦略策定は。

町長 担当職員を1名配置、プロポーザルで委託者を決め、再エネ・温室効果ガスなど目標設定する。

問 病院の経営改善は。

町長 ベッドの利用率を高める等、経営推進室を立ち上げ検討する。

各保育園の整備、予算化は

栗 原 洋 子

問 保育園は地域の核となる。方針はひまわり保育園の整備を進めるのみで各保育園の整備、予算化は。

町長 各園長からヒアリング等行い修繕等予算措置をしている。今後の保育園整備については「国土交通省の入札契約改善推進事

業」による支援を受け、課題を整理する中でその課題を議員の皆様と協議をさせて頂きたい。合わせて発注者としての体制も強化して参りたい。

町公共施設の今後の取り組みについて

吉 野 徹

問 自治体への支援策として、地域社会再生事業費が地方交付税として重点配分されているが、町民のために進めるべき最優先の施策は。

町長 町内産業を始めとする地域経済の充実、移住定住問題や、町立病院・ニューグリーンピア津南・保育園等既存施設の方向性、更に脱炭素・デジタル社会への対応策などが優先課題と考える。

町長の百年の計を伺う

小 木 曾 茂 子

問 町長の施政方針における百年の計とは。町内出身者が帰郷するための施策は。今後のエネルギー政策や交通体系、除雪対策の中身は。情報通信機器の発展等を利用して、除雪、交通体制の近代化を。

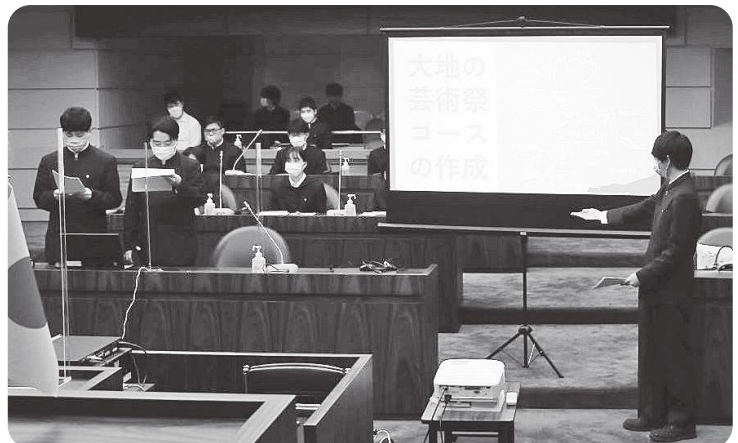
町長 先祖から受け継いだ相互扶助の精神を大切に地域経済の立て直しを図る。子供たちにはジオパーク学習などを通じて地域への愛着を図る。町外在住者にはSNS等で情報発信し、選択肢を示す。

まちなかオープンスペースについて

村 山 道 明

問 設置改修について、一般的な事務所等の改修工事金額相当と対比すると、坪単価が過度に高いのではないか。積算根拠は。

町長 地域らしい特色を持ったデザインや機能性にこだわった。坪単価は、市場価格を鑑み現状の設計デザインとしては適切な価格と考える。

津南中等
探求学習
発表会

令和4年度 予算、発議案採決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第13号	財政調整基金の処分について	全員賛成で可決
議案第14号	地域経済活性化対策事業基金の処分について	全員賛成で可決
議案第15号	令和4年度津南町一般会計予算	賛成多数で修正可決 (修正案：賛成10 反対2) (修正案除く原案：賛成 9 反対3)
議案第16号	令和4年度津南町国民健康保険特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成10 反対2)
議案第17号	令和4年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成10 反対2)
議案第18号	令和4年度津南町介護保険特別会計予算	賛成多数で可決 (賛成10 反対2)
議案第19号	令和4年度津南町簡易水道特別会計予算	全員賛成で可決
議案第20号	令和4年度津南町下水道事業特別会計予算	全員賛成で可決
議案第21号	令和4年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	全員賛成で可決
議案第22号	令和4年度津南町病院事業会計予算	全員賛成で可決
発議案第1号	拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書の提出について	全員賛成で採択
発議案第2号	ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、軍の即時撤退を求める決議について	全員賛成で採択

議案採決結果・議員発議

拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書(抜粋)

国会並びに政府では、閣僚や国会議員が率先してブルーリボンを着用し、拉致被害者救出への意思を示している。今後も拉致問題を最優先かつ最重要課題と位置づけ、国際社会との連携強化を図り、対話に重点を置いた姿勢を貫らぬ。そのために、あらゆる手段を講じて行動し、全拉致被害者の即時一括帰国を実現するよう強く要請する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月18日

津南町議会議長

恩田 稔

結果 全員賛成で採択

ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、軍の即時撤退を求める決議(抜粋)

ロシア軍は無差別な軍事侵攻を続けるほか、稼働中の原発を攻撃して占拠し、その安全性は保障されていない。このような武力による一方的な侵攻で世界中を危険にさらす行為は断じて許すことはできない。よって津南町議会は、ウクライナに対するロシアによる武力攻撃と侵害に強く抗議する。日本政府においては核施設に対する国際原子力機関の関与による安全性の確保と、武力行使の即時停止、軍の撤退を働きかけるよう強く求める。以上決議する。

結果 全員賛成で採択



戦争の終結を祈ってキャンドルに火を灯すウクライナ女性

がら町政を問う!!?

一般質問 (10議員)

1

草津 進 議員 (9ページ)

1. 2022年の町政の課題は何か
2. 少人数学級の対応は

2

小木曾茂子 議員 (10ページ)

1. 除雪体制の見直しについて
2. 原発事故避難者受け入れの諸問題
3. 上郷橋かけ替えについて

3

久保田 等 議員 (10ページ)

1. 《人口減少対策》(子育て世代の定住・移住対策)
 - 1) 保育ニーズへの対応について
 - 2) 保護者の望む教育環境の対応について
2. 企業との連携について
 - 1) イングリッシュ・アドベンチャーや無印良品計画との連携について
 - 2) 津南町と関わりのある企業とのオフィシャルパートナー協定の締結について
 - ① 交流人口・関係人口対策
 - ② 企業版ふるさと納税対策

4

村山 道明 議員 (11ページ)

1. ニュー・グリーンピア津南の今後について
2. 豪雪対策について
3. 新型コロナウイルス感染症関連について
4. 津南町農業の課題について

5

桑原 洋子 議員 (11ページ)

1. 議員と町との請負禁止にかかる地方自治法92条の2について問う
2. 津南病院存続と地域医療を守る姿勢を問う
3. 現保育園整備、改修で前向きな町政を

6

滝沢元一郎 議員 (12ページ)

1. 観光地域づくり法人について
2. 移住・定住について
3. 農業基盤の整備について
4. 教育施策について

7

石田タマエ 議員 (12ページ)

1. 保育園増築工事の見直しについて
2. 町外の高校に通う町内高校生への支援策について

8

関谷 一男 議員 (13ページ)

1. 災害復旧現場に通じる道路状況について
2. 津南病院で診察後の休憩室整備について

9

吉野 徹 議員 (13ページ)

1. 限られた町財政のなかで、公共施設の今後の取り組みについて

10

桑原 義信 議員 (14ページ)

1. いつでもどこでも無料でPCR検査を受けられる体制を
2. 中小農家への農業機械補助について

—Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!—

人口減少の歯止め対策を

持続可能な町づくりに取り組み



草津 進 議員

問 令和3年の国勢調査で人口は9千人を割った。前回よりも千人も減っている現状で、歯止め対策をどう進めていくか。

町長 まち、ひと、しごと総合戦略を作成し雇用を創出、新しい人の流れ、結婚、出産、子育て支援、安心の暮らしと地域の連携の4つに区分し数値目標を掲げた。将来に向けて持続可能な町づくりを進めてきたが、目に見えて結びついていない状況ではない。

問 町名の変更は考えているか。例えば「津南高原町」等にする考えは。

町長 津南町の名称には先人たちの誇りと精神が詰め込まれていると感じている。歴史を重ねてきた。津南町という

名は町民に親しまれ、全国においても認知され浸透してきた。町名の変更は考えていない。

少人数学級の対応は

問 複式学級をどう思い、授業対応をしているか。子供たちの現状と問題点、競争力は。

教育長 町単独事業として複式学級臨時講師3名を配置し国語、算数、社会、理科を中心に複式による授業の解消に努めている。しかし、主に音楽、図工、道徳等については通常実施する学年の内容を年度ごとに分け、入れ替えて実施している教科がある。学年のつながりを考慮した進め方が課題である。



豪雪・除雪の手伝い

住民が幸せでない町に移住者は来ない



小木曾 茂子 議員

除雪体制の見直しを

問 今冬の大雪で、高齢者住宅など、雪の始末に苦労した。なぜ国の災害救助法が適用されなかったのか。柴村方式を参考に救助員の冬季雇用で支援体制を強化すべき。春耕のため農道除雪にも援助を。

各担当課長 援助要請はしたが、被害・危険がなかったため適用されなかった。要援護世帯には除雪援助券で補助している。農地の消雪対策は、県に要請したい。

原発事故時の避難民受け入れについて

問 小千谷市民4600人の受け入れと積雪時の駐車場確保は可能か。感染症対策の換気と被ばく対策の密閉は対策が矛盾する。北風が吹くと柏

崎から雪雲がやってくる。飯館村と同様に、高汚染地帯になる可能性が高い。避難民は受け入れられず、町民避難準備も必要ではないか。

総務課長 感染症対策下では1800人がやつと。小千谷市とも協議したい。避難所の運営については検討する。津南町民の避難計画については難しい問題である。

上郷橋は6mに拡幅を

問 住民から要請が出ている。信濃川で一番狭い橋。県道に格上げして拡幅工事を。計画が出る前に町の意思表示を。

建設課長 県から計画が示されてから検討する。



積雪で駐車スペースも埋まる避難所

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

教育が貧弱な町には移住者は来ません



久保田 等 議員

保護者は子供の教育の向上を望んでいるが？

問 津南町第6次総合振興計画及び、まち・ひと・しごと総合戦略では人口構造の若返りを図るとし、15歳から39歳の男女を10人ずつ増やす計画になっている。それを達成するために若い世代、子育て世代のアンケート調査の結果から見ても、「英会話教育」を含め学力の向上を望んでいる。子育て世代の移住者を増やすためにも教育に力を入れるべきであると思うが。

町長 A L Tが2名になったので保育園にも月に1から2回程度半日の訪問を行う体制ができた。今後は保育士の要望を受け、どのような遊びや活動が出来るか検討してい

なぜもう少し企業との連携事業に積極的にならないのか？

問 毎年、マウンテンパーク津南のイングリッシュ・アドベンチャーには、都会から夏休み等に何百人もの子ども達が「英語キャンプ」に来ていて。津南町の子ども達も、もっと活用出来ないか。また、連携事業は考えていないか。

町長 教育事業やインバウンド事業で参画いただきたいと考えている。

問 良品計画が津南町に来て25年にもなるが、なぜ今まで一流企業なのに連携し事業を起さなかったのか。

町長 今後は良品計画のブランド力を活用して様々な事業を模索していきたい。



良品計画案内看板

銀行等借入約6億円・町支援は



村山 道明 議員

ニュー・グリーンピアの経営危機支援内容は

問 経営危機への支援、①施設貸付料「年額3,000万円×7年分2億1千万円の免除」、②保守点検業務経費「年間1,300万円×7年分9,100万円を補てん」、③スキー場整備費「基金等で修繕した約6,000万円を町へ負担振り替え」、④賃貸借契約書の内容一部見直しをするなどとしている。今後計画管理をしないと財政が逼迫するがどう考えての策か。また、経営を含め存続については、リゾート経営プロ業者に任せるとの戦略も一理あるが認識はどうか。

町長 入込客数が落ち込み厳しい経営が続いている。令和11年3月期までの7年間の経営改善計画年度とし、経営の

改善に取り組む。今後クラウドファンディング、ふるさと納税等財源確保を検討する。契約は顧問弁護士と相談している。経営にあたっては、経営プロに任せるなどさまざまな手法があるが、現運営会社との契約でいく。

国・町道交差点の除雪をすべきだが

問 大割野交差点や病院前町道、陣場下交差点は、うず高い積雪状態が続く、通勤通学道路として機能が果たされていない。なぜ除排雪しないのか。

町長 405号及び町道中央線交差点付近（病院行道路）は、降雪時には交差点付近も除雪を行っているが、これを上回る降雪時は交差点が狭くなっている。今後も県へ要望をする。



大割野・病院町道交差点の積雪状況

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町は自治法違反認識後も取引継続か



桑原 洋子 議員

この間の取引状況は

問 議員の町からの請負禁止について、地方自治法の第92条の2に規定されている。町は法違反を認識しながら取引を繰り返してきたのか。この間の取引状況は。

総務課長 取引は役場関係、病院関係合わせておよそ1,180万円。見積りを取って行なっていた。

問 教育委員会、総務課関係の発注が多いが、なぜ契約、取引を続けたのか。庁内課長会議では、このことについて話し合われたのか。

町長 法人、個人の確認を怠っていた。注意義務を怠り大変遺憾に思っている。課長会議でも確認をしていなかった。昨年11月、情報公開請求があった。町長はそれ以前か

ら認識していたはずだ。

副町長 当該議員から事実確認をせず、議会への対応ができなかったことであり、私の不徳の致すところで深くお詫び申し上げます。事実関係を確認し、事務の適正化に努めて参りたい。

総務課長 判断が甘かった。大変申し訳ありませんでした。
問 矛盾する点があり議会としても調査が必要。町の責任を調査し、しかるべき対応をしていたいただきたい。

改築へ基金創設と進捗状況は

問 津南病院存続と地域医療を守るための基金創設は。

町長 改築基金は中長期計画策定の中で議論し財源を検討する。



行政は地方自治法を守る責務がある

これからの町づくりは

問 観光地域づくり法人の概要、滞在型コンテンツ・地域マーケティング策定など交付金の積算根拠、人材の確保等、設立までの工程は。

町長 法人は一般社団法人津南まちづくり機構とし、理事に法人検討委員の就任を検討、社員は企業と個人で構成。地域の魅力を高め、資源を活用して交流人口の増加を目指す。持続可能な町づくりなど15項目に取り組む。事務局は役場職員と地域づくり協力隊の4人、新年度早い時期に登記して事務所をまちなかオフィススペースに置く。町の交付金は480万円である。



滝沢 元一郎 議員

問 移住コーディネーターの人材確保と町全課あがりの支援体制は。

町長 移住相談窓口として専門職化する。移住経験者が適任と考え、会計年度職員として4月から任用する。

問 4年度、農業基盤整備の調査を開始する地域は。

町長 ほ場整備は集積、効率化、放棄地防止からも重要で土地改良、農協、県、町による圃場整備推進チームで検討している。12集落で要望があり、早期実施を国県へ要望。情報通信システムの構築にも取り組んでいく。

問 県立十日町高校松之山分校の募集停止への対策は。

教育長 松之山分校の募集停止についてはその存続を県教育長に要望している。



十日町高校松之山分校

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

保育園増築工事不落の責任は

保育園増築工事不落の責任について



石田 タマゴ 議員

問 ひまわり保育園増築・統合計画が2度の不落となったが、今までの経過の説明責任を果たしていない。

町長 広報や懇談会等で十分説明してきている。

問 予定価格と応札価格はいくらか。

町長 国及び県では不落の場合公表していない。町も県に準じた対応としている。

問 不落でも公表している県がある。町も公表してほしい。

町長 国・県に準ずる。

問 予定価格を公表できないのであれば、1回目と2回目の予定価格の差はいくらか。

町長 予算の範囲内である。

問 実施設計が3月末に納められ、有効期限が6か月とある。設計書の有効期限内に落札できなかったのは設計事業者の責任ではないか。

町長 互いに信頼関係の上で実施しているのでは、設計事業者の責任だけではない。

問 それでは、百パーセント町長の責任か。

町長 町の責任だけではない。

問 既に投資した1億を超える損金の責任は。

町長 できるだけ今後の事業で活かしていきたい。

町内の高校生への宿泊支援について

問 町外へ通っている町内の高校生に、津南中等教育学校へ通っている生徒と同等の支援を令和4年度から実施を要望したが、なぜできないか。

町長 中学校へは学校存続のための支援であり、町内の生徒への支援は現時点では考えていない。



2回の不落になった保育園増築工事

道路管理・病院外の休憩室整備について



関谷 一 男 議員

災害復旧現場に通じる道路管理の見直しを

問 道路掃除、埃止めのため散水対応しているが、①車を運転中、白線ラインで滑り、事故を起こしそうになった。危険なので水を撒かないでほしい。②車を洗車して帰ったところ、道路に水が撒かれ、車が泥まみれ。水を撒くのをやめてほしい。との声がある。町・県の対応は。

町長 堤防工事が着手され、工事車両が往来しており、現在の道路管理としては散水車による粉じん対策を行なっている。町民の皆様の見解については県と協議し、路面状況により路面清掃車での対応等、道路維持に努める。

病院診察後の休憩室整備を

問 車を運転しない高齢者が診察後、公共交通の不便から長時間待つことがある。ゆっくり休める休憩室があればと聞くが、高齢者への対応と院外休憩室の整備を望む。

町長 診察を待つていただいているお客様、帰宅までお待ちいただく方々には大変不便をおかけしている。院内サービス改善の取り組みとして、医療・健康情報番組のデジタルサイネージを待合室3ヶ所に設置し待ち時間の不安の解消に努める。

病院事務長 院外休憩室については、受診後長時間待つことにより容態が急変することもあり、見守り体制が整わないと難しい。



病院待合

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町 公共施設の今後の取り組みについて



吉野 徹 議員

公共施設の個別計画、世代間負担について

問 町の、公共施設等総合管理計画では、耐用年数後改修費として40年間で885億3千万円と試算している。更に、投資可能額と必要額との差額330億円の財源不足としている。

町民ニーズ、そして将来負担について、どのように理解されているか。

町長 町の関係の将来負担比率は下降方向と思われる。公共施設の抑制は必要であり町民ニーズを重視して進めていく。

予算編成のあり方について

問 町の予算審議は、単年度予算重視であり、施設建設についても初期費用のみで、施設のライフサイクルコスト（生涯費用）の審議はされていない。

予算審議のあり方について検討すべきと思うが。

町長 予算編成時においては将来負担を見据え進めていく。



築40年以上を経過した役場庁舎

全町民に抗原検査キットの配布を



桑原 義信 議員

いつでも無料で受けられるPCR検査を

問 津南病院に設置されたPCR検査機を活用し、濃厚接触者や県外往来者、不安のある人に無料で検査できるように拡充を。

町長 PCR検査は検査数に上限もあり、対象者を絞って実施していく。

病院事務長 マンパワー的に、無料の検査を行える体制ではない。

問 高齢者施設や学校などに定期的に検査を。

町長 施設や学校には国、県から抗原検査キットが配布されており、必要に応じて検査できる。無料の抗原検査は町内一箇所の薬局で受けられる。



検査キットを全町民に

問 県内では濃厚接触者は7日間自宅待機で、検査はしないというが、感染者等と接触した段階で心配な人も含め検査すべきだ。

福祉保健課長 同居家族は検査するが、同居以外は7日間の待機となっている。引き続き県に要望を上げる。

問 抗原検査キットを全町民に配布したらどうか。

福祉保健課長 町で購入して配布する考えはない。

農業機械導入に補助を

問 家族、兼業農家が大半の当町では「機械が壊れれば農業を続けられない」との声がある。農業機械補助制度を創設すべきだ。

町長 どういった形が良いか意見を聞いて検討する。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

議員定数等に関するアンケートを実施します

【議員定数等特別委員会報告】

昨年9月に「議員定数等特別委員会」を立ち上げ、議員定数や議員のなり手不足等の諸課題について議論を重ねています。議論を深めるにあたり「議会アンケート」を実施させていただくこととしました。

大勢の皆様のご協力をお願いいたします。

【実施対象者・実施方法】

①対象者

・令和4年5月1日現在、津南町に住民登録のある18歳以上のかた。

②アンケート用紙の配付

- ・年代毎に60名を無作為に抽出、該当者宛に郵送します。
- ・アンケート用紙を同封の「返信用封筒」にてご返送ください。
- ・令和4年6月6日までにポスト又は役場へ投函ください。

③メールでも参加できます。

・議会事務局宛メール gikai@town.tsunan.niigata.jp に「住所・氏名」の他、「議会アンケート希望」と書いてお送りください。確認後、アンケートを返信いたします。

●アンケートの請求期間：令和4年5月16日(月)～令和4年5月31日(火)まで

委員会レポート

総文福祉常任委員会

町教育委員との懇談会

とき 令和4年1月19日(水)

ところ 津南町役場大会議室

内容 津南で育み、社会に大きく羽ばたく教育大綱

① 令和4年度の方針と具体的な取組について

「第6次総合振興計画」「教育大綱」を踏まえ本年度3月には第2期教育振興基本計画が策定される。各種計画を基本とし4年度も各事業、施策を実践展開する。

取組みの主なものとして、ひまわり保育園増築棟建設の再検討、学校運営における地域との協働、地域コーディネーターの配置などである。

② 部活動の地域移行について

生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動と、学校の働き方改革の両立を実現するために、どうしていくのかなど、多くの課題に

ついて議論していかなければならない。

③ Tapの委託について

Tapの仕事量と委託料の明確化が問われた。

懇談を終えて

コロナ感染が収まらない中、入学式、卒業式等すべての行事が縮小または中止される中での教育は厳しいものがあります。子どもたちに感動、思い出作りを望むものです。

(担当 草津 進)



教育委員との懇談会風景

産業建設常任委員会

道路除雪状況調査

とき 令和4年1月25日(火)

ところ 町内町道・国県道路線

内容 積雪の多い中、「道路除雪状況調査」を行った。

今回は秋山方面、秋成く中深見く津南原方面、三箇く外丸方面、大割野地区と、長い延長の中での除雪体制等の状況調査となった。

当日未明まで降雪があったが、朝から晴天となり、綺麗に除雪された道路状況であった。特に川西地区の歩道除雪・排雪の遅れが目立ち、関係集落住民の危険箇所がある状況だった。

また、町内病院通りでの排雪の遅れにより危険度が増し、歩道整備、道路幅員の拡張等が急務の課題であり、当委員会は町担当課に申し入れを行った。

視察を終えて

豪雪に難儀した冬でした。1日も早く春の訪れを願った委員会調査でした。

(担当 吉野 徹)



磯部畜産交差点



小岡一巻下線



町民登場

降り続く雪、雪で除雪に追われ
「晩酌ができなかった」と
悲しげにつぶやく大口さんでした。



大口善広さん(米原)

今冬の豪雪の中、奮闘された津南原地域除雪隊員の大口善広さん(米原)に苦労話をお聞きしました。

住民の生活道路除雪は早朝から始まります。

深夜1時半起床、支度、2時半～3時に出勤し、早朝除雪が始まります。通勤、通学の住民の人たちの為に朝7時迄に一車線を確保します。

その後8時迄は自宅で朝食、休息し、8時半から日中作業、町道除雪を始めます。

降り続けているときは早朝、日中、夕方的一天3回出勤します。この冬は3回出る事が多く何日も続きました。

また勤め帰りの住民の方のため、夕方6時半から7時まで除雪作業を再び行います。

津南町の町道除雪隊員は現在、32人で担当路線を10班に分かれて作業します。大口さんの担当路線は(越渡～米原～豊郷～堂平～美穂～所平)タイヤドーザーで助手と2人体制で

出勤します。ロータリー車も2人体制で、同じ路線を担当します。

大口さんは隊員歴21年のベテラン除雪隊員です。過去に怖かった経験は、「2011年3月12日に起きた、長野北部地震により道路脇の雪の壁が崩れたことです。所平のトド(200mの崖)で作業中、余震が続きタイヤドーザーが揺れて、このときはホントに怖かった」そうです。

これからの課題は、「後継者不足です。経験の浅い若い人が次の担い手になるには時間がかかる」と町に課題を投げかけています。

住民生活の安全確保のために、危険のリスクと過酷な業務をになう除雪隊員の皆さんに感謝致します。

大口さんは、最後に「降り続くと晩酌ができなかった」と悲しげにつぶやきました。

本当にありがとうございました。

7月議会告知

第2回定例会は7月20日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。



町では戦争反対のスタンディングも行われた

2月24日、アメダス津南観測所の積雪は419センチを記録し、過去32年間の最高値となりました。
家々の屋根を超える雪は高い壁となり、車の出し入れも不自由となりました。除雪隊の活躍により町民の生活は維持できましたが、16年ぶりの大雪に住民はとまどいました。
同日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民へも銃を向けました。核攻撃も辞さない体制をとり、稼働中の原発も標的となりました。地震や大雪は人間が止めることはできませんが、戦争や核使用は意思があれば止められます。科学技術は幸せのために使われてほしいと願っています。

編集後記

Editor's postscript